

Antenna House PDF マルチ変換 ライブラリ

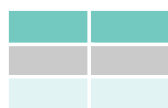
製品の特長

PDFから内部のコンテンツ(テキスト・表・図・画像など)をXML形式のファイルやOffice文書形式のファイルなどに変換するライブラリです。

01

PDF内のコンテンツを再利用可能なデータ形式に変換

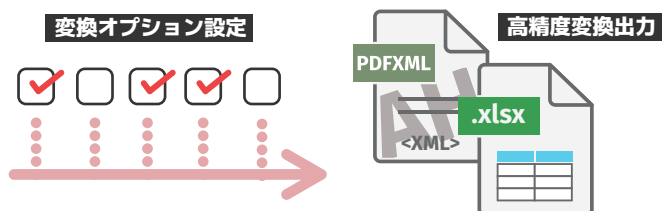
独自技術でPDF内のテキストやグラフィックス情報を解析し、汎用性の高いデータ形式に変換することで情報の再利用を容易にします。



02

豊富なオプションで、高精度変換を実現

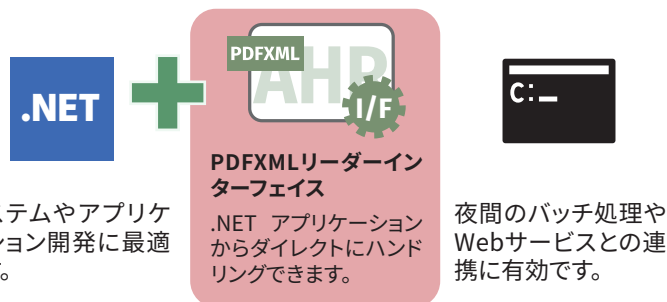
元のPDFに合わせた詳細な変換条件で、高精度変換を実現します。



03

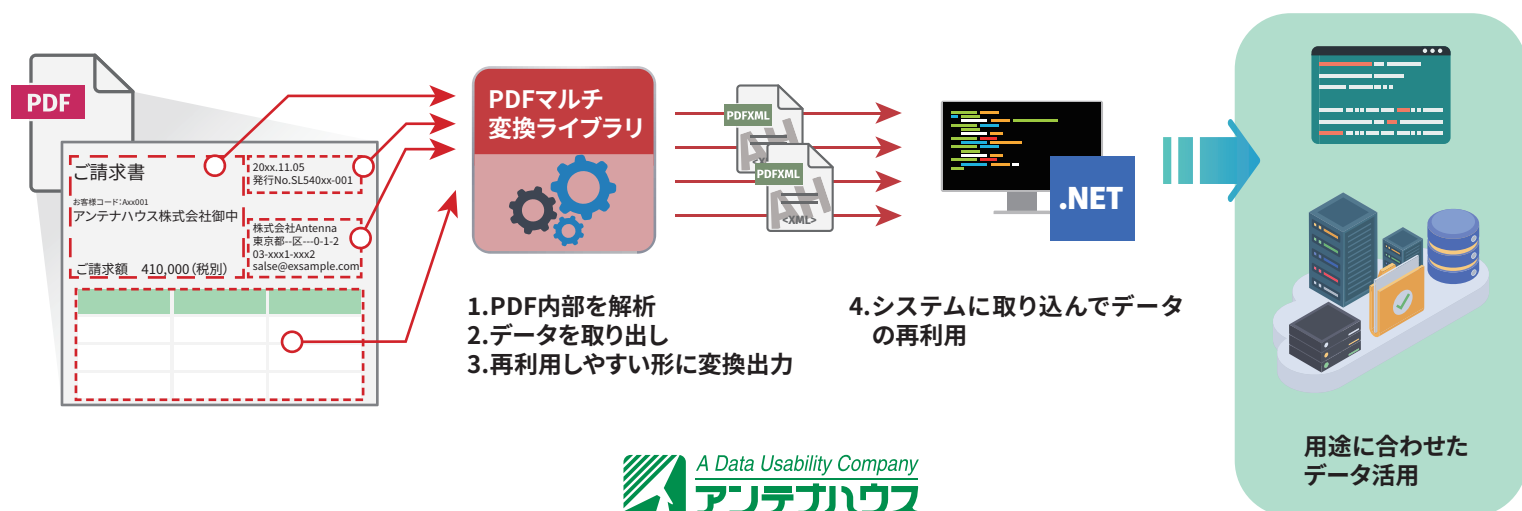
変換形式にとらわれない、共通のインターフェイス

.NET8インターフェイスと、コマンドラインインターフェイスの2種類をご用意。どちらも全ての変換形式に対応。用途に合わせて選べます。



活用事例

『PDFマルチ変換ライブラリ』でPDFからデータを取得し、データセンターで保管。文書や顧客管理、帳票システムなどの業務システムと連携して能動的なPDF活用の場を提供します。



主な機能

対応フォーマット

- ・ ISO32000に準拠した、PDF1.3～2.0形式のPDFファイル
※パスワードで保護されたPDF、電子署名設定されたPDFは変換できません。
※PDFに保存されている注釈、フォームデータ、JavaScriptは未対応です。

変換ファイル形式

- ・ Antenna House PDFXML形式(PDFXML形式)※

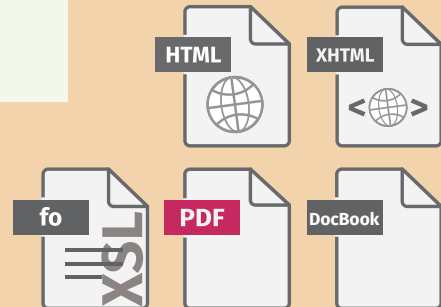


※アンテナハウスが定義した、PDFの文書構造を表現するためのXML形式です。
＜PDFから取り出せる情報＞

- ・ 段落/行/文字情報
- ・ 表(行・セル)
- ・ 画像情報



XSLTスタイルシート
の利用で他の文書
形式に変換も可能
です。(※ 要作成)



- ・ Microsoft Excel / Word / PowerPoint
- ・ テキスト



PDFをExcel(xlsx形式)、Word(docx形式)、PowerPoint(pptx形式)、Text(*.txt)に変換できます。

出力されたPDFXML形式ファイル群



PDFXML リーダーインターフェイス



PDFXML形式を、お客様が開発する.NETプログラムで簡単に利用できるようにするリーダーインターフェイスです。ドキュメントをWeb上で公開しています。

動作環境

対応OS	Windows11日本語版 Windows Server 2025 / 2022	ハードディスク	本製品のインストールに必要な100MB以上の空き容量
CPU	上記OSが動作するインテルx64系プロセッサ	必須ランタイム	Windows Desktop Runtime 8.0 Microsoft Visual C++ 2022 再頒布可能パッケージ
メモリ	上記OSが推奨するメモリ以上(これに加えて1GB以上の空き容量を推奨)	対応インターフェイス	.NET8 コマンドライン(コンソールアプリケーション)

ライセンス

サーバーライセンス	お客様の運用されるサーバー上で、プログラムが動作します。プログラムの機能をサーバーに接続したクライアントから利用することができます。実運用に使うことができます。開発・保守用途にも使うことができます。
スタンドアロンライセンス	お客様ご自身がお使いになるコンピューター上で、プログラムを動作させ、ご自身で機能を使用できます。ネットワークで接続した他のコンピューターから機能を利用することはできません。
開発(デベロッパー)ライセンス	システム開発担当者やシステムインテグレーターがシステムを構築するプログラム開発作業、試験・保守作業、バックアップ用などのためにのみ使用することができます。

お問い合わせ (土日祝日を除く 月～金 9:30～18:00)



〒103-0004
東京都中央区東日本橋2-1-6 東日本橋藤和ビル5階

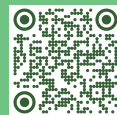
アンテナハウス株式会社 システム営業グループ

email sis@antenna.co.jp

TEL 03-5829-9021

30日間

全ての機能を試せる
評価版をご用意!



<https://www.antenna.co.jp/mcl/trial.html>

製品についての詳しい情報は、次のURLからご覧ください。

<https://www.antenna.co.jp/mcl/>